

## 予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業改良普及費

### 事業名 新たなブランド育成支援事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農業経営課 普及企画係 電話番号：058-272-1111 (内4084)

E-mail： c11419@pref.lg.jp

1 事業費 5,300 千円 (前年度予算額：5,300 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,300	0	0	0	0	0	0	0	5,300
要求額	5,300	0	0	0	0	0	0	0	5,300
決定額	5,300	0	0	0	0	0	0	0	5,300

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

「ぎふ農畜産物のブランド展開」を推進するためには、農業者の収益性向上に直結する新たな品目の掘り起こしや、新たな売れる農産物の創出、効率的な生産技術の開発、生産現場への速やかな普及が不可欠である。特に新型コロナウイルス感染症収束後の農業の再興を進めるため、魅力ある地域独自のブランド展開が求められている。

### (2) 事業内容

普及指導員が中心となって、県オリジナル品種や、地域にある自然・文化・人材といった資源を活かし、学校や企業など農業関係者以外とのコラボレーションを展開して、加工品づくりやイベントを結び付け、消費者に選ばれる新たなブランド創出の支援や、産地の持続的発展につなげる。

### (3) 県負担・補助率の考え方

ぎふ農畜水産物のブランド展開は、ぎふ農業農村基本計画に位置付けられており、農業の振興に必要であるため、県が費用を出して事業を実施する。

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	61	講習会講師謝礼
旅費	324	巡回指導、先進事例調査等旅費
消耗品費	1,907	実証保設置に係る資材、マニュアル
燃料費	1,000	公用車燃料費
役員費	901	通信運搬費、土壌分析・品質分析費
使用料	243	機材使用料、E T C使用料
備品購入費	834	分析機器、加工機器費用
負担金	30	研究会等への参加負担金、視察料
合計	5,300	

## 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略、ぎふ農業農村基本計画

### (2) 国・他県の状況

複数の都道府県で、新たなブランドづくりに向けた事業が展開されている。

### (3) 後年度の財政負担

事業は、3年計画のため継続が必要である。

### (4) 事業主体及びその妥当性

農業改良助長法に基づき、県が農産物のブランド展開の支援を実施

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
ブランド化の推進や産地の持続的発展の支援を行う。  
また、産地発展のため担い手の育成・確保を行う。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
対象品目のブランド化(販売額目標達成品目数)	10	10	10	10	10	100%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域の重点品目10点を選定。</li> <li>・ブランド創出または強化するため、生産及び販売面の課題を設定。</li> <li>・食品加工業者や小売業者等の農業関係機関以外と幅広く連携し、課題解決のための実証調査、品質分析、加工品開発等を実施</li> </ul> <p style="text-align: center;">以上の取組により生産量及び販売額が目標にむけ向上しつつある。</p> <p>指標① 目標：<u>0</u> 実績：<u>0</u> 達成率：<u>    </u> %</p>
令和 3 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選定した各地域の重点品目について、課題解決に向け、食品加工業者や小売業者等の農業関係機関以外と幅広く連携し、実証調査、品質分析、加工品開発等を実施。</li> <li>・以上の取組により生産量及び販売額が目標にむけ向上しつつある。</li> </ul> <p>指標① 目標：<u>    </u> 実績：<u>    </u> 達成率：<u>    </u> %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：<u>    </u> 実績：<u>    </u> 達成率：<u>    </u> %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ <b>事業の必要性</b> (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)            3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>・ 地域の特性を活かしたブランド創出及び強化は、地域活性化につながるため事業の必要性が高い。            ・ ブランド創出及び強化には、栽培技術と地域連携が重要であり、普及指導員が中心となり進める必要がある。</p>
<p>・ <b>事業の有効性</b> (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)            3 : 期待以上の成果あり            2 : 期待どおりの成果あり            1 : 期待どおりの成果が得られていない            0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>・ 実証ほを設置し品種特性を把握すると共に、必要な品質分析を行い、実需者との連携を行う有効な計画である。</p>
<p>・ <b>事業の効率性</b> (事業の実施方法の効率化は図られているか)            2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価) 1	<p>・ ブランド創出及び強化にあたり、各地域の特性を活かしており、効率的である。地域活性化につながるため事業効果も高い。</p>

### (今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</p>
-----------------------------

### (次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか            事業計画に基づき、関係機関と連携しながらブランドづくりを推進する。            各地域における農産物のブランド化について、普及指導員が生産面及び販売面から支援することは、地域振興のために今後も必要である。</p>
---

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	

## 県単独補助金事業評価調書

 新規要求事業

 継続要求事業

### (事業内容)

補助事業名	
補助事業者（団体）	（理由）
補助事業の概要	（目的） （内容）
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） （理由）
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 （理由）

### (事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
	令和6年度当初予算にて追加
令和4年度	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
---------------------

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--